

はえはる議会だより

3月 6月 9月 12月

令和6年6月定例会

NO.226

令和6年8月20日発行

高齢者の新しい「足」へ
「mobi(モビ)」に
3943万円 P2

沖縄県
南風原町議会HP



表紙写真

21年ぶりの津嘉山大綱曳き

議会報告会を開催しました P4
定額減税しきれない方へ給付金ほか P6
全議員が登壇 P8
題字：南風原中学校3年生 川田 憂妃さん

県内初

高齢者の新しい「足」へ

メインターゲットは

免許返納をした高齢者
子育て世代 など

「mobi（モビ）」の目的は？

町民の皆さまの細かな移動のニーズを把握することで、改良点や課題を検討し、今後の持続可能な公共交通を目指します。

なぜ「mobi（モビ）」を始めるの？

南風原町の交通の課題

- 高齢者人口の増加、運転免許返納者の増加が見込まれる。
- 新川・大名などの地域は坂道が多く、徒歩や自転車での移動が困難。
- 国道 329 号線などはバスが走っているが、その他の地域はバスでの移動は困難。
- 渋滞が多く発生している。
- 町内の移動は自家用車に偏っている。
- 既に実施しているタクシーチケット（※）は要件等もあり、利用できない方がいる。
- 駐車場の不足、観光客の移動手段が必要。

※高齢者外出支援タクシー料金助成事業
70 歳以上の非課税世帯の高齢者向けにタクシーの初乗り運賃を助成する事業

解決のために

- 運転免許や自家用車が無い方などを支える交通手段が必要。
- 細かな移動ニーズに対応できる「オンデマンド交通」により、町内の移動ニーズを把握。
- 移動手段を自家用車から公共交通にシフトすることで、交通渋滞の緩和を図る。



東恩納 ヒロ子さん
(宮城・70歳)

mobiのおかげで楽しい毎日

後期高齢者になった日に免許証を返納。1 年余りバスやタクシーを利用しましたが、夏は暑くてバス停まで歩くのが辛い。タクシーはなかなか見つからない。家族に頼ってしまいがちで外に出るのも億劫になり、このままボケるかも？と思っていました。そんな中で mobi の運行開始を知り、さっそく初日から利用しています。最初はスマホでアプリ操作など出来ず面倒くさいと思っていましたが、息子に教えてもらい、今では家族に負担をかけずにプール教室や買い物、模合にカラオケと、mobiのおかげで行動範囲も広がり、メリハリがある楽しい毎日を過ごしています。

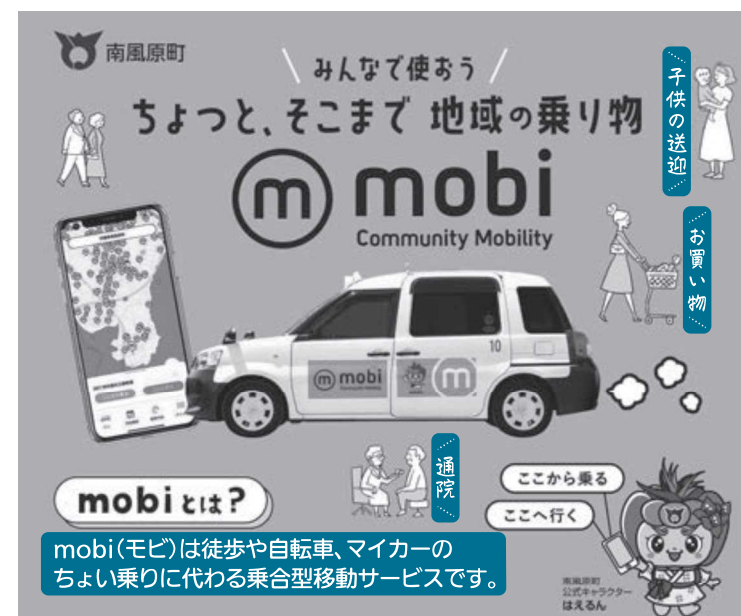
mobi に関するお問い合わせ：mobi カスタマーサポート TEL050-2018-0107

「mobi（モビ）」に3943万円

令和 6 年 5 月の臨時会において、AI オンデマンド交通の実証運行（令和 7 年 2 月 28 日までの予定※延長する場合があります）に向けた事業費、3943 万円の補正予算が可決（補助金 2513 万円）され、令和 6 年 7 月 1 日より「mobi（モビ）」が始まりました。

今回の実証運行になった経緯をご紹介します。

「mobi（モビ）」とは



乗降箇所

町内 350 箇所以上

プラン

30日5,000円
定額乗り放題プラン他

運行時間

午前 9 時～午後 7 時



詳しい利用方法は
こちらから



新川・81歳女性

使って
みたいね

モビはいいね
と思って使おうと電話したら、2台しかないので来ないと言われ、予約もできないと言われた。

電話も簡単じゃなかったねー。だからまだ使ってないさー。私は最近運転止めたから使ってみたくてまださー。回数券買おうかと考えて、娘に登録してもらおうと思っているけど、いつできるかねー。使い易くなつて欲しいね。

子どもの送迎に便利

南風原町でmobiが開始すると聞いて、すぐに定額乗り放題プランに登録しました。3 人の子どもの保育園に送迎するのにとても便利で有り難いです。時間が朝 8 時からだと、最高のサービスだと思います。南風原町内どこまでも定額なのには驚きました。サービス期間が 2 月末までとあるが、ぜひ継続したサービスにして欲しいです。



津嘉山・30代

家の傍まで来たらいいのにねー

うちは広報も議会だよりも読んでるよ。モビのタクシー使いたいけど、「ンカッカ」から家迄まだ遠いし、坂もあるさー。R 社の巡回車が毎週くるけど、やっぱりスーパーにも行かんとならんから、買物して帰る時、タクシーの運転手さんに頼んで玄関まで荷物上げてもらう時もあるさー。モビのタクシーはそれはできんでしょうねー。

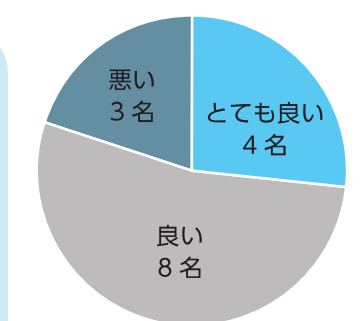


宇良 トキ子さん
(新川・89歳)

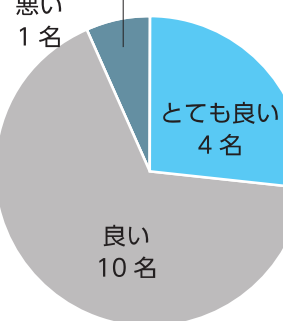
第13回 議会報告会を イオン南風原店にて開催



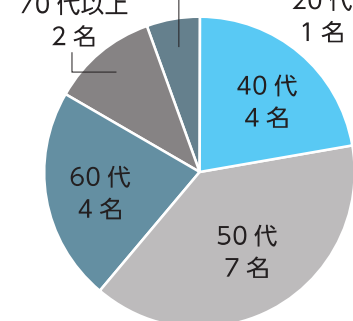
意見交換会について



報告会の内容



年齢



皆さまでからアンケートを頂きました。ご協力ありがとうございました。

議会報告会

1. 今年度予算・注目事業
 - ① 防災無線の機能強化
 - ② 学童クラブへの補助金
 - ③ レスブリッジ市友好都市20周年記念事業
 - ④ ふるさと博覧会実行委員会補助金
 - ⑤ 町民体育館アドバイザー業務委託料
2. 条例改正
 - ① 会計年度任用職員に勤労手当を支給
 - ② DX推進協議会を設置
 - ③ 女性デジタル教育・就労支援
 - ④ 議場にタブレット導入
 - ⑤ 下水道事業

平成24年から開催している議会報告会も今年で13回目となりました。コロナ禍で書面開催となった年もありましたが、去年よりイオン南風原店のご協力の下、再開しております。今回の議会報告会では、令和6年度の予算や注目事業の説明を行い、その後意見交換会にて町民の皆さまからの質問にお答えしました。

議会へのご意見

議会報告会があり、直接自分の意見が言えることはとても有意義だと思います。しかし、自分も含めてもっと町民の皆さまが町政に関心を持ってほしいです。(60代・女性)

住民への説明会は必要だと思います。今後も続けてください。(60代・男性)

もっと意見交換がしやすいやり方を考えてもらいたい。また学生に関心を持って参加してもらいたい。(50代・女性)

初めて拝聴しました。とても貴重な場だと思いました。年1回でなく2回ほど設けてほしい。(40代・男性)

どうしたら若い人が議会に興味を持つことができるのかを考えてほしい。(20代・男性)



皆さまで頂いた意見をまとめて、報告書として町長に提出しました



問 体育館の建設に50億もかかり維持費、採算性について心配しています。

回答 町民から、体育館を造ってほしいという声があるのも事実です。学校の体育館の利用率が増加し、スポーツや部活動をしている子ども達の体育館が限られている現状があるためです。ただ今回の議会でも体育館関連予算の修正案が提出されたこともあり、今後も議論は続けていき、行政の方にも、しっかりと説明を求めていきます。

問 町内の道路の渋滞が激しくなっています。近隣と連携して渋滞対策を優先度を上げて進めて頂きたい。

回答 渋滞は各議員も、一般質問等で取り上げています。南風原バイパスも渋滞緩和の策として位置づけられています。渋滞解消に向けて行政の方に訴えています。南風原町も県と一緒に公共交通、渋滞緩和策に関しては議論しています。



第2回 定例会

6月18日から28日までの11日間の会期日程で開催されました。
提出された議案は審議の結果、全て原案のとおり可決されました。
今回の議会で可決された予算や条例、陳情等をご紹介します。

補正予算で行う事業

定額減税しきれない方へ給付金 事業費 4億9767万円

所得税・住民税において、定額減税しきれない方へ「調整給付金」を支給します。



物価高騰への支援 事業費 809万円

物価高騰の影響を受けている農家や伝統工芸品生産者を支援する補助金です。



肥料等の
購入補助



伝統工芸品の
原材料等補助



北丘小校区学童の新設補助金 事業費 1260万円

待機児童がいる北丘小学校区での学童新設に補助を行います。
令和7年度4月開所予定です。



町民体育館アドバイザー 業務期間を延長

令和6年度完了予定だった業務期間を一年延長し、検討期間を長くすることで、よりよい提案を求めます。



中学校へ採点システムの導入 事業費 47万円

中学校に採点システムを導入し業務の効率化を図ります。またデータ化をして、成績の分析等を行うことができます。



補正予算・条例

条例の改正で何が変わるの？

保育施設等の基準を改善

◇南風原町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正

小規模保育所や事業所内保育所の職員配置基準の改善を行う改正で、それ以外の認可保育園については、沖縄県の規則改正により同様に改正されました。

	改正後	改正前
3歳以上 4歳未満	15人につき1人	20人につき1人
4歳以上	25人につき1人	30人につき1人

こども計画に子どもの意見を反映

◇南風原町子ども・子育て会議設置条例の一部を改正

子ども・子育て支援事業計画に、こども計画を一体的に策定することで対象者が30代までになります。また、策定にあたり子どもの意見を行政の施策に反映させるため、アンケートを行います。

決議・意見書・陳情の結果



米兵による少女誘拐暴行事件を受け、議員発議による抗議決議及び意見書が提出され、全会一致で可決されました。その他、意見書・陳情の結果は以下の通りです。



決議・意見書全文はこちらから

決議第4号 提出先：在日米軍大使 他	米兵による少女誘拐暴行事件に対する抗議決議	可決
意見書第6号 提出先：内閣総理大臣 他	米兵による少女誘拐暴行事件に対する意見書	可決
陳情第10号 (令和5年)	健康保険証の存続を求める陳情	審議未了
陳情第14号 (令和5年)	年金制度における外国人への脱退一時金の是正を求める意見書の採択を求める陳情	審議未了
陳情第1号	国保運営方針改定にあたり、物価高騰などで困窮した県民生活と医療を受ける権利を守るためにも、保険税（料）引き下げ、減免制度拡充等国保制度改善を求める陳情書	採択
陳情第2号	訪問介護費の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める陳情書	採択
陳情第3号	「義務教育費国庫負担堅持及び2分の1復元」のための意見書採択を求める陳情	継続審査
陳情第4号	「30人以下学級早期完全実現」のための意見書採択を求める陳情	継続審査
陳情第5号	ガザ地区の即時停戦のための積極的外交を政府に要求する意見書の提出を求める陳情書	採択
意見書第2号・第3号 提出先：内閣総理大臣、沖縄県知事他	国保運営方針改定にあたり、物価高騰などで困窮した県民生活と医療を受ける権利を守るためにも、保険税（料）引き下げ、減免制度拡充等国保制度改善を求める意見書	可決
意見書第4号 提出先：内閣総理大臣 他	訪問介護費の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める意見書	可決
意見書第5号 提出先：内閣総理大臣 他	ガザ地区の即時停戦のための積極的外交を政府に要求する意見書	可決

継続審査 … 会期内で結論が出せないため、次回議会でも引き続き審査を行う

審議未了 … 審査をしても「採択・不採択」の結論が出せない場合

人事 全会一致で同意

固定資産評価審査委員 久保 以明、下地 寛

議員の失職

令和6年6月7日、新垣善之議員が沖縄県議会議員選挙に立候補したため、町議会議員の職は自動失職となりました。失職に伴う補欠選挙はありません。

一般質問

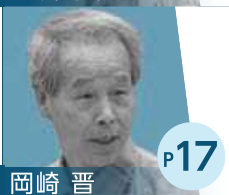
町に考えを聞く 政策提言

【一般質問とは】

議員が、町行政の執行状況又は将来の方針、政策的提言や行政の課題などを執行部に直接質問することです。

QRコードから各議員の議会中継が視聴できます。一般質問記事は質問議員が会議録から抜粋し、広報委員会によって編集されています。



	4月3日の津波警報 対応で課題は P9 ・仮称町民体育館 今後の予定・計画は ・冠水対策、国・県と連携して早急に
	災害時のマニュアル作り を早急に P11 ・LRT構想を兼城十字路口まで ・粗大ごみ券に整理番号等の追加を
	町道5号線の拡幅工事を P13 ・学校給食費の小中学生無償化を実現へ ・北丘小学校体育館建設を問う
	津嘉山小学校の安全対策を P15 ・町道290号線の歩道整備を問う ・生活道路の車両対策を
	サーターヤー起業に支援を P17 ・学校給食費無償化を問う ・本町のふるさと納税を問う ・本町ホームページのリニューアルを問う
	南星中と翔南小 改良工事の計画は P19 ・照屋地区の道路冠水対策を ・山川地区に街灯の設置を
	桁下空間活用で賑わい 創出を P21
	官民で公共スペース 活用を進めよ P23 ・デジタル化を進めよ ・女性支援新法に基づき包括的支援を

	南風原町の平和行政 どう考えるか P10 ・戦後補償で「軽便鉄道」の再建を
	南星中トイレ 改修工事の予定は P12 ・建築基準法のセットバックの扱いは
	新しい通園制度 趣旨活かし導入へ P14 ・ペットと同行避難は出来るか
	日米共同声明の評価を伺う P16 ・県の学校給食費の無償化について問う ・会計年度任用職員について問う
	不登校対策について伺う P18 ・小学校の通学かばんを問う ・津嘉山公園を問う ・餅会館を問う
	本町の農業をどう導くのか P20 ・農地取得への下限面積が廃止
	コロナ後遺症の 合理的配慮を P22 ・生成AIを活用せよ ・フェムテックの発信を積極的に ・幼稚園に携帯電話を



赤嶺 奈津江 議員

4月3日の津波警報 対応で課題は

答 情報発信や避難行動の
周知方法等が課題



問 4月3日の津波警報時の
対応について、本町での課題
は何か。

副町長 避難対象地域への周
知や情報発信の方法がある。
多くの町民が車両での避難に
より交通渋滞が発生した。徒
歩避難等適切な避難行動の周
知を図る必要がある。

問 保育園や学校・教育現場
での対応はどうだったか。

副町長 保育園では、河川沿
いのみ避難指示発令を確認
し、落ち着いた行動を取るよ
うに連絡した。また学校等へ
避難を行った施設もあった。

幼稚園では午前中に入園式
が行われており、警報発令時
には多くの保護者と園児が来
園している状況であった。園
では、町教育委員会と連絡を
取り合いながら対応した。
小中学校は、春休み中で児
童生徒の対応はなく、体育館
等で避難者を受け入れた。

仮称町民体育館
今後の予定・計画は

問 当初計画から変更がある
と思うが、今後の予定・計画
はどうなっているか。

副町長 令和6、7年度にア
ドバイザリー業務を行い、令
和8年度から10年度にかけて
設計、工事を行う予定である。
規模については、アドバイザ
リー業務で引き続き検討して
いく。

問 広域的に考え、防災機能
強化をすべきと思うが町とし
ての見解を伺う。

副町長 広域的な防災機能を
備えた施設整備については、
調査、研究していく。

冠水対策、国・県と
連携して早急に

問 大雨による道路の冠水等
が多くなっている。県道82号
線、241号線も冠水してい
た。町道のみならず、県道、

国道での対策も急務と考える。
一時貯水地をつくることも含
め、再整備を要請できないか。
副町長 各道路の状況に応じ
て道路管理者へ対策を要請し
ていく。

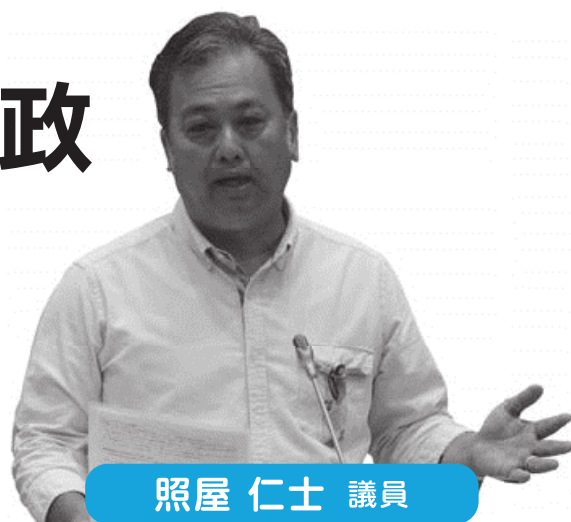


新川での冠水

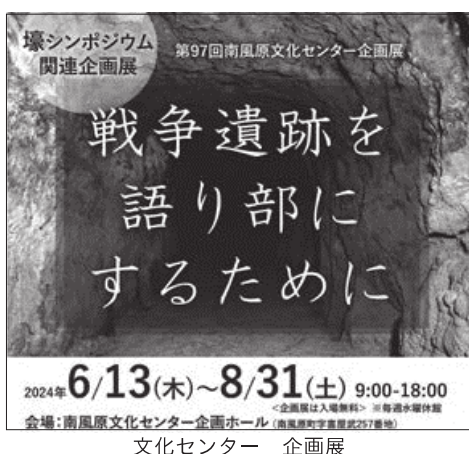
問 治水対策は南風原町だけ
ではできない。国・県と一緒
にやっていく。それを共通認
識として近隣市町との連携が
必要だと思うがどうか。
町長 今後とも隣市町と、ま
た、県と協議し対処してい
きたい。

南風原町の平和行政 どう考えるか

答 今後も必要な予算を措置する



照屋 仁士 議員



問 南風原町の平和行政をどう考えるか。どのような取り組みをどう評価をしているか。

副町長 県内市町村で先駆けとなる様々な平和発信事業に取り組んでいる。

問 文化センターでの展示や企画展など、非常に評価が高い。一方で手作りの良さは否定しないが、もう少し予算措置があってもいいのではないか。

総務部長 今後も必要な予算を措置する。

問 南風原陸軍病院20号壕も南風原平和ガイドの会を含め評価が高い。一方で屋外戦跡の状況や案内看板など、施設整備面での拡充が求められる。どう取り組むか。

生涯学習文化課長 今後また研究していきたい。

問 町民から今の南風原町は平和の取り組みが弱いという声がある。厳しい指摘もある。受け止めつつ、どう見せていくのか、どう発信するのか、工夫をして頂きたい。

総務部長 お見込みのとおりである。

戦後補償で「軽便鉄道」の再建を

問 戦後補償で「軽便鉄道」の再建を。南風原町には戦前戦中、「軽便鉄道」の路線が2本走っており交通の要衝であった。戦争で失われた公共施設として、国に再建を求めたいがどうか。

町長 軽便鉄道の再建を国に求める考えはない。

問 鉄軌道の実現に向けても、戦後補償という考え方もあるのではないか。これから未来にそういった視点が必要ではないか。そして国から財源を措置されるべきではないか。

現在、戦争に起因する不利益を根拠に、沖振法をはじめ様々な制度化がなされている。近年では不発弾の磁気探査費用や遺骨DNA判定なども国の負担になった。だからこそ過去の軽便鉄道路線のあった市町村で連携して、今の時代に鉄軌道を再建する一つの取り組みとして考えられるのではないか。

町長 南風原町としては、広域交通ネットワークは、国・県が行うべきと考えている。

一こんな質問もしました
・南風原町にとっての県政課題は何か

災害時のマニュアル 作りを早急に



答 早急に対応していきたい

問 台湾での地震で本町も津波警報が発令された。海がない本町で、津波による浸水の想定も、長堂川一部しか明記されていない。

津波被害は想定されないが、町地域防災計画に「万が一の場合も考えて重要である」という認識に立ち、町民等に対しては日頃から津波に対する対応についての普及啓発を行うとともに、避難誘導マニュアルを万全に期するものと書かれている。

警報が発令されてから、計画を見る人はいない。実際に計画の中に「地震津波等の行動マニュアル等を分かりやす

く早急に作成し住民等に配布し、研修を実施するよう」とある。ごみ出しポスターのようになりやすい災害時の避難マニュアルの作成を求めるがどうか。

総務部長 計画で津波避難について掲載しているが、町民に分かりやすいという視点では、まだ足りていない部分がある。今後適切に対応できるように、マニュアル等も取り急ぎ整備しながら対応していく。

問 全国的に見ても避難所に介護食は少ない、本町の避難所はどうか。

副町長 備蓄品として介護食は備えていない。今年度購入し対応する。

LRT構想を 兼城十字路まで

問 LRTが真和志地区まで来る那覇市の構想がある。LRTを兼城十字路まで延伸できれば、民間の交通手段も使用しLRTを含め様々な交通ラインが生まれる。LRTを兼城十字路まで延伸の要望はできないか。

まちづくり振興課長 南風原町の総合交通戦略の中で、新たな公共交通としてLRTを中長

期的に検討する方針を掲げている。那覇市がLRTを新川の方まで結ぶことになっているので、広域的にどんな取り組みができるかも含め、調査研究をしていく。

粗大ごみ処理券に 整理番号等の追加を

問 粗大ごみ処理券の盗難がある。整理番号等で対応できないか。



今の粗大ごみ処理券

住民環境課長 町民から粗大ごみ処理券が剥がされたという相談がある。氏名記入ではなく、日付と整理番号の連番を検討していく。

大城 勇太 議員

南星中トイレ 改修工事の予定は

答 実施に向け取り組む



金城 憲治 議員

問 南星中トイレの改修工事実施に向け、具体的にどのような取り組みをしているか。

教育総務課長 今後、基本実施設計を入れて、改修に向けて取り組んでいく。

問 基本実施設計は、具体的にどのようなイメージで設計し、どのようなトイレを作っていくのか。

教育総務課長 設計を入れるに当たってどのようなトイレにしていくのかということは、学校側と生徒側との話を聞いて取り組んでいく。

問 トイレの改築、改修がで



南星中トイレの状況

きるようであれば、計画段階で子どもたちが参加したワークショップなど開催して子どもたちの意見を取り入れることは可能か。

学校教育課長 学校は通常生徒会等々を通して、学校をこういふふうにしていきたいというのがあるので、そのような活動の中で意見聴取していきたいと考えている。

**建築基準法の
セットバックの扱いは**

問 建築基準法に基づいて、セットバックした際の扱いについてはどのような扱いになるか。

副町長 セットバックした敷地は個人敷地ではあるが、建築基準法の道路として扱われる。

問 例えば新築の家がセットバックをする場合に対する助成制度を行っている市町村はあるか。

まちづくり振興課長 近隣市町村では、那覇市がセットバックした部分に対して、個人の敷地ではあるが、個人の方がアスファルトとか、コンクリートを敷く道路部分を施工する際に対しても、助成がされている。

問 セットバックすること、自分の土地を道路に提供する。その為に、アスファルトやコンクリートを敷くという部分については、町として今後何かしらの助成制度を検討できないか。

まちづくり振興課長 南風原町の既存集落区域は、ほぼ2項道路に面しており、近年大分既存集落内での建替えが非常に増えてきている現状がある。その中で当然那覇市の参考事例であったり、情報を収集した上で今後調査研究に努めていく。



知念 富信 議員

町道5号線の 拡幅工事を

答 令和7年度以降に事業が
できるよう要求する



問 町道5号線を町民体育館建設と連動して補助金申請できないか。

副町長 沖縄振興公共投資交付金の補助申請で令和7年度以降に事業ができるように要求する。

問 県道241号線の起点から歩道のある道路に拡幅整備できないか。

副町長 県道241号線を起点とした道路線形を計画している。道路幅は7m、歩道2.5mで歩道を設置する拡幅工事を予定している。町道5号線は町道49号線に向かって線形がまっすぐになるので、陸上競技場の入口道路は公園の園路として活用する。

問 スポーツ公園として町道5号線と町道63号線間を硬式野球場、多目的グラウンド等に整備してスポーツ学園高校を誘致できないか。

都市整備課長 農業振興地域の農地に位置付けされている。

現時点では整備、誘致の予定はない。

学校給食費の小中学生 無償化を実現へ

問 県は令和7年度より中学生の給食費を半額にすると発表した。本町は中学生給食費半額の負担金額を給食費無償にする考えはないか。

教育総務課長 本町は中学生の給食費が月額5000円で全体的で約6000万円、半額で3000万円の負担になる。



ある日の給食

就学援助の中学生は約370名で約1000万円の負担、無償化については、近隣市町の動向を注視して対応する。

北丘小学校体育館 建設を問う

問 体育館建設の完成が遅れたことによる検証はされたか。



北丘小 体育館

教育長 北丘小学校体育館の完成が遅れた原因を整理し、今後検証していく。

新しい通園制度 趣旨活かし導入へ

答 導入に向けて検討を進める



浦崎 みゆき 議員

問 新しい「こども誰でも通園制度」の内容、本町への導入はいつか。対象人数はどうなっているか。

こども課長 就労要件を問わず時間単位で保育所等を利用できる新たな通園制度で令和8年より導入を予定している。対象者は令和6年4月で230人である。

問 全国的にモデル事業が行われているが本町の各保育園からの意見や受け止め方はどうか。

こども課長 要項や通知を園と共有している。園からは専門的な保育士がフォローする部分で賛成、課題として保育士の配置や月10時間という時間制限、保育士の負担が増える等の意見が寄せられている。

問 支援を必要としている家庭の子どもを短時間でも預けることにより、リフレッシュできる、また専門家である保育士に子育ての相談ができる

機会を得られるメリットもある。一時保育のように、自治体独自の裁量ができないか。

こども課長 支援を要する世帯の保護者の負担軽減の部分で、誰でも通園と一時保育の部分と一緒に制度として取り組むことは、今後想定される。

問 本町の保育所の定員割れの状況はどうか。誰でも通園制度は、保育所の経営を助けるメリットもあると思う。

制度の趣旨を活かし導入してほしいが、本町の考えを伺う。

こども課長 保育所の空き状況は、0歳～5歳で合計96名である。今後の経営の懸念はあることから解消の一助となると認識している。

幾つかの課題はあるが国の大きな子育て支援制度の導入に向けて検討を進めている。

ペットと同行避難は出来るか

問 ペット避難所は確保されているか。また、どれぐらいの頭数を考えているか。

副町長 避難所敷地内（ちむぐる館）に専用スペースを確保し対応する。10頭の予定である。



ペット用避難 予定場所

問 10頭は少ないと思うが、今後頭数を増やす考えはあるか。

総務課長 ちむぐる館以外の指定避難所、専用スペースを確認しながら頭数を増やすよう検討したい。

津嘉山小学校の 安全対策を

答 安全指導計画を作成している



大城 雅史 議員

問 令和6年5月21日のJ A おきなわ津嘉山支店付近の交差点で発生した児童横断中の交通事故の事故状況について伺う。

教育長 走行車両の信号無視による事故と報告を受けている。

問 教育委員会において事故発生からのこれまでの対策を伺う。

教育長 事故の状況について報告を受け、児童全員に対して安全指導を行った上で下校させるよう指示を行った。また学校から保護者に対して、家庭における交通安全指導に

ついてのお願いを行い、登校時における立哨当番への協力依頼をすることについて確認をしている。

問 今後の津嘉山小学校の交通安全対策基本計画を伺う。

教育長 幼稚園、小学校、中学校とともに各学校での安全指導計画を作成しており、定期的な指導や訓練などを実施している。安全指導計画に基づき随時指導を行っていただくよう校長会、教頭会場で要請していく。

町道290号線の
歩道整備を問う

問 町道290号線の歩道整備について伺う。

副町長 現在、歩道の築造工事はほぼ完了しているが、一部未舗装及び仮舗装の状態となっている。

今年度に本部公園線の歩道



町道290号線 歩道現状

舗装工事を発注し、年度内に完了予定である。

問 この290号線の歩道については、なかなか工事が進まないという声がある。それについては何か遅れている原因があるのか伺う。

区画下水道課長 仮舗装等になっている原因としては、インフラ設備の水道、下水道、電柱などの完了後の本舗装を予定している。

生活道路の車両対策を

問 近隣住民より生活道路において、車の往来が多く大変危険との声がある。現在の状況について伺う。

副町長 令和5年度生活道路安全対策調査検討委員委託業務において、津嘉山小学校地区の生活道路安全対策の調査を行った。検討にあたり、住民の意見や関係機関との調整を経て路面標示等を含めた対策案を策定している。

日米共同声明の 評価を伺う

答 私が評価する立場ではない



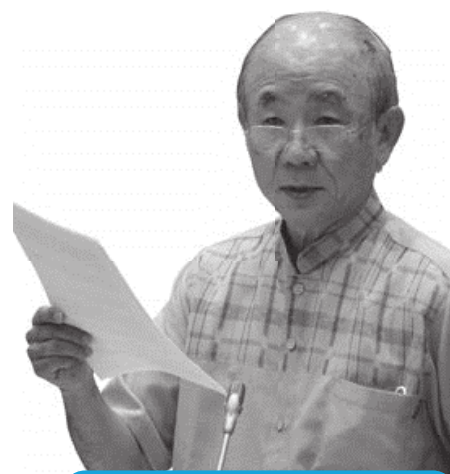
問 岸田首相は、首脳会談の翌日に米議会で、安保三文書を改訂し、軍事費のGDP比2%への増、敵基地攻撃能力の保有を決定した内容など、米国の要求に応じた大軍拡の実績を米議会に報告している。これは露骨な対米従属、アメリカの言いなりになる屈従姿勢を表明したものだと言えるが、町長の見解を問う。

町長 沖縄を戦場にしたいくない、これに関しては、沖縄県民全てがそう思っている。しかし、これとまた行政運営をする立場と、それとはまた別だと私は認識している。評価する立場ではない。



慰霊祈和の塔

問 共同声明では、自衛隊を米軍の指揮下に深く組み込むこと、アメリカとイギリス、オーストラリアの軍事同盟の軍事協力や武器の共同開発、生産の拡大もうたっている。これは日本の憲法と相容れぬ内容であり、断じて許すことはできないと考えるが、町長の見解を問う。



當眞 嗣春 議員

町長 その質問は通告に入っていないので、答弁の準備をしていない。答弁を控える。

県の学校給食費の無償化について問う

問 県の給食費無償化支援方針に対する町長の見解を伺う。

教育長 沖縄県の中学校の給食費を2分の1補助する事業は、中学生の子を持つ保護者の経済的負担軽減となると考えている。

問 これは県の方針を前向きに受け止めているというふう

町長 歓迎している。なるべく早めに県知事の公約を実現してもらいたいというのが私の考え方である。

問 9月議会に補正案を組んで、直ちに実践するという施策はないか問う。

町長 学校給食費の完全無償化は県知事の公約である。それを実現させるために、皆さんもご協力をお願いしたいと思っています。

会計年度任用職員について問う

問 会計年度任用職員制度の趣旨・目的は何か。町長の見解を問う。

副町長 会計年度任用職員制度の導入目的は、非正規職員の採用や処遇を適正化することである。

一こんな質問もしました
• 「記録的短時間大雨情報」について

サターヤ一起業に支援を

答 要望があれば支援検討する



岡崎 晋 議員

問 1990年からのさとうきびに関する推移を問う。観光資源開発の為にサターヤ一起業を農家に働きかけ支援してもらいたい。本町が豊かな田園都市であり続ける為、農用地保全の方針に変更ないか。

町長 サターヤ一起業の要望があれば支援を検討する。引き続き農用地保全に努める。

本町のさとうきびに関する比較

	耕作地/坪	出荷量/t	生産高/万円
1990~1991年	716,295	16,013	3億2811
2023~2024年	138,394	2,409	6,125
比較	-81%	-85%	-81%

学校給食費無償化を問う

問 県が来年度予定の中学校の無償化にどう対応するか。

町長 完全無償化が知事の公約なので、是非それを実現してもらいたい。

問 本町は無償化に自主的な考えはないか。

町長 5割負担の協議が整えばやむ無しと思うが、あくま

で知事に完全無償化を要請していく。

問 中学校で負担5割の場合、財源は幾らか。幼少中学校の一人当たり徴収額と材料費はどうか。

私は学校給食のありがたさを考え、完全無償化でなく少しは保護者に負担頂くべきと考えるがどうか。

教育長 財源は約5千万円、完全無償化は色々な角度から様々な議論が必要である。

学校給食の現状

	区分	幼稚園	小学校	中学校
給食費:円/月	南風原町	3,200	4,500	5,000
	那覇市	—	4,500	5,000
材料費:円/食	南風原町	220	247	275
	那覇市	—	247	275

※那覇市の認定こども園は単純比較できないので空白。

本町のふるさと納税を問う

問 開始以来の収入は幾らか。用途を学校トイレ・陸上トラック改善、給食食材費補助等、何に充てたか可視化して欲しいがどうか。

企画財政課長 合計6億988

4万円で、ふるさと応援基金残高は現在2億円余である。用途は教育・福祉等所定の6つの事業に充てており、個別でなくこれまで通りの報告にしたい。

本町ホームページのリニューアルを問う

問 予算は幾らでいつ完了予定だったか。

町長 予算は1991万円で本年3月完了が、令和7年1月完了予定となった。庁内の専門部会で仕様書作りに時間を要している。

問 現在のHPはお知らせ優先で、親しみにくい。県内では庁舎玄関両側に「役場」「議会」の看板、HPを開くとすぐに「行政」「議会」とあり、分かり易い自治体もある。議会関連にアクセスし易くなるか。

総務課長 さらに利用しやすくなるよう取り組む。

不登校対策について伺う

答 関係機関と連携し
取り組んでいる



西銘 多紀子 議員

問 本町の不登校児童の人数、その要因について伺う。

教育長 令和5年度では、小学生129名、中学生120名である。その要因で最も多いのは「無気力・不安」である。

問 年間の予算を伺う。

学校教育課長 教育相談事業の予算として令和6年度3215万円が予算化されている。

問 不登校児童の抱える問題にどう対応しているか伺う。

教育長 各学校で心の教室相談員、中学校で自立支援教室や適応指導教室で専任の指導員を配置し個別対応を行っている。

また、町教育相談支援センターや島尻教育研究所内にある、しのめ教室を活用し対応している。

県費によるスクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー、こども課などと連携し取り組んでいる。

小学校の通学かばんを問う

問 小学校の通学かばんに関して本町の見解を伺う。

教育長 児童の安全面を考え、両手が塞がらず転倒時など体を支えることができるものを推奨している。

津嘉山公園を問う

問 津嘉山公園で頻繁にボール遊びをしているが場所が道路側であり、事故を防ぐ上でも防球ネットは必要ではないか。

副町長 防球ネット設置の計画はない。

問 運転手及び保護者として危険性を感じる。道路の速度制限は難しいため、防球ネットをしないのなら徹底的な注意喚起や管理が必要ではないか。

都市整備課長 公園施設としての管理が必要であり看板で周知する。多目的広場なので各世代の方が使っていただける広場づくりを進めていく。

問 供用開始の有無にかかわらず公園管理者の責任について伺う。

副町長 公園利用条件の看板等を設置し、注意喚起をしていく。

緋会館を問う

問 緋会館の糸引き場が屋上にあり職人の負担が大きいとの声があるがどうか。

副町長 組合からの要望等はない。



緋会館 屋上糸引き場

問 組合からの要望等があれば対応できるのか伺う。

産業振興課長 対応できるものかどうかも含め協議していく。

南星中と翔南小 改良工事の計画は

答 現状を踏まえて検討している



問 公共施設の長寿命化計画は、公共施設等総合管理計画で示された方針に沿った具体的な取り組みができていますか。

副町長 公共施設等総合管理計画の方針に基づき、施設の維持管理に努めている。

問 長寿命化計画の対象となっている新川、与那覇、照屋のコミュニティセンターの方針はどうなっているか。

総務課長 使用する各自治会が中心となり改修を図ることとしており、長寿命化計画については自治会と調整しながら、コミュニティ助成金など活用できる補助金等、情報を

共有しながら進めたいと考えている。

問 南星中と翔南小はそろそろ大規模な改良工事が必要な時期だが、大まかな目安でも計画されているか。

教育総務課長 現状を踏まえて検討を行っている。

問 翔南小体育館の屋根の劣化状況は最低評価のC判定である。雨漏りがひどく早急に対応してもらいたいがどうか。

教育総務課長 子ども達が安心して楽しく学校生活が送れるように、環境整備を積極的



大城 重太 議員

に取り組みたいと考えている。雨漏りの原因を調査して、一番いい対策方法を選んで計画的に修繕したいと考えている。

問 長寿命化計画を計画通り行うためには、データが基になってくると思う。時期が来たから点検、検討を行うのではなく、定期的に点検を行い積み重ねたデータで計画を立ててほしいがどうか。

教育総務課長 定期的にできればと考えているので、調査、検討したい。

照屋地区の 道路冠水対策を

問 照屋地区の照屋給油所から金門飯店にかけての県道82号が冠水する。区画整理事業への影響も懸念されるため対策を問う。

副町長 道路管理者の沖縄県と連携を図り、対策を検討していく。



冠水した照屋区の県道82号

山川地区に街灯の設置を

問 山川地区の宇平橋交差点から山川交差点に向けての県道82号沿いに街灯を設置してほしいがどうか。

副町長 道路管理者である沖縄県へ要請する。

本町の農業を どう導くのか



答 エコファーマー制度を周知している

問 本町の農業をどう導くのか。エコファーマーは増えたか。

町長 増えていない。

問 令和4年9月定例会での質問に対し、「エコファーマー認定農業を推進するとともに、緑の食料システム戦略の実現に向けて、農業関係団体と連携して取り組む」という答弁だった。エコファーマーを増やす方針で、その後どういう施策を行ったか。

町長 農家の集まり等で制度を周知している。

問 その質問をした翌年に国

の方針が変わり、エコファーマー制度が廃止された。本町のエコファーマーの経営は順調か。調査はされたか。

町長 エコファーマーの調査は行っていない。先日、農業改良普及センターでエコファーマー会議があった。順調と考える。

農地取得への 下限面積が廃止

問 農地法改正で、農地を新規に取得する際の下限面積が廃止になった。農地の売買件数は増えているか。

町長 増えていない。



下限面積要件の廃止で購入出来た540坪の畑

問 農地法改正の趣旨をどう捉えているか。

町長 経営規模の大小に関わらず意欲を持って農業に新規に参入するものを地域内外か



大宜見 洋文 議員

ら取り組むことが重要であり、そういった方の農地等の利用を促進することが趣旨と考える。

問 全国的に小さい規模の農家が増えている。その要望の多さが近年の高齢化し後継者や人手不足が問題化している全国の自治体の課題解決にマッチングしている。

会社に勤めながら農業を学べるマイクロファーマーズスクールという学校が大人気だ。最初は家庭菜園より少し大きい規模の畑から始めて、徐々に大きくステップアップしていく仕組みなどが全国で取り組まれている。

本町でもそういう視点で農業政策を考えるべきときに来ていると考えるがどうか。

町長 農地を小分けにして進めていくのは少し危険ではないか。興味本位で取得し、そのまま続かなくなり、耕作放棄地にならないか懸念もある。



石垣 大志 議員

桁下空間活用で賑わい創出を

答 計画的に取り組んでいく



問 黄金森公園を拠点とした賑わいの創出に桁下空間活用が生きると考えるがどうか。

副町長 町全体の公園整備及び改築において優先順位を定め、計画的に取り組んでいく。

問 花水緑の大回廊公園の今後の計画について伺う。

都市整備課長 公園整備の進捗率については43%となっており、今後計画的に整備を行う。

問 残りの区間の整備については、桁下空間の活用による黄金森公園を拠点とした賑わいの創出に取り組んでほしいがどうか。

都市整備課長 黄金森公園を中心に桁下空間の活用について今後も調査研究していく。

問 南風原バイパス桁下空間活用の今後の検討状況は。

副町長 令和4年度に桁下空間活用について管理者と協議を行った、今後も桁下空間活用を検討していく。



現在的那覇空港自動車道桁下空間

問 具体的にどのような活用になるのか。

まちづくり振興課長 現時点ではまだ構想という段階ではあるが、公益的な考え方としては、やはり公園であったりオープンスペースとしてのイベント利用時の活用等、様々な用途に対しては協議、検討できるものと考えている。

問 南部東道路桁下空間の活用についてどのような取り組みができるか伺う。

まちづくり振興課長 南部東道路は那覇空港自動車道に直接連結する計画である。連結するに当たって高架、橋桁が多数建つような計画になっている。その中で高架下となると、橋桁が多数あって、限られた用地でしかまとまった土地がないというところで県からの現時点の計画では限られたスペースしかないと同っている。

問 桁下空間という部分については南風原町の特色になってくると思っている、本町の魅力の向上のためにも是非活用検討してほしいがどうか。

まちづくり振興課長 引き続き沖縄県、管理者と協議しながら調査研究していく。

一こんな質問もしました

- ・河川氾濫対策について問う
- ・黄金森公園及び町民体育館について問う

コロナ後遺症の合理的配慮を

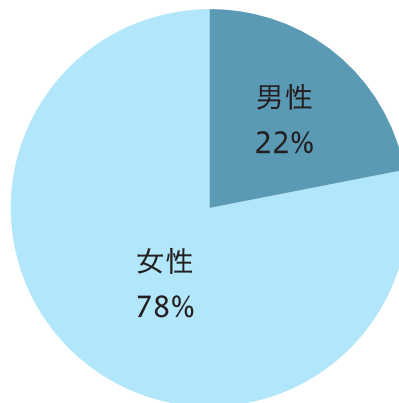
答 社会生活全般で柔軟に対応すべき



伊佐 園恵 議員

問 筋痛性脳脊髄炎（ME）、慢性疲労症候群ともいう。障がいや病気が見えにくい、家族からの理解を得るのも苦勞し、怠け者扱いされたりする。

厚労省
慢性疲労
症候群調査



ME患者の男女比

問 見えない障害や病気もある。例とし、コロナ後遺症の筋痛性脳脊髄炎（ME）をあげる。学校、職場等で合理的配慮を求められれば対応できるか。

副町長 社会生活全般で柔軟に対応すべきである。

今年度施行された障害者総合支援法に則り、町でも障がい者等に寄り添った対応は可能か。

保健福祉課長 障がい者本人の意向等を確認し、計画を立て福祉サービスを受けられる。

生成AIを活用せよ

問 生成AIを活用し、各年代にあった表現で分かりやすく説明するなど、町政に生かしてほしいがどうか。

副町長 調査研究を行っているところである。

フェムテックの発信を積極的に

問 月経で2日目にアプリを開くと「今日は終わらせたい仕事もできなかったかもしれないね」とその人に寄り添ったコメントに心を救われる。又、月経終了日は「キラキラ期」と比較的調子のよい時期をわかりやすい表現が、

アプリに入る。妊娠出産だけでなく、体調を予測した、コミュニケーションや生活に役立つことを広報は可能か。

国保年金課長 アプリも含め、広報につとめる。

問 男性も家事育児、介護をすることを推奨し、発信してほしいがどうか。

副町長 フェムテックの趣旨が社会に浸透することが、男性も家事育児、介護をすることなにつながると考え、内容を定期的に発信する。

幼稚園に携帯電話を

問 幼稚園に携帯電話を支給してほしいがどうか。

学校教育課長 検討し導入に向けて取り組んでいく。

一こんな質問もしました
・エコセンターの活動の為、1台携帯電話の支給ができないか

官民で公共スペース活用を進めよ

答 賑わうように取り組んでいく



玉城 陽平 議員

問 本町においても官民一体で公共スペースの活用を進めていくべきだと考えるがどうか。

都市整備課長 まちの賑わいを生み出す有効な手段となる。利用者が増えるよう取り組んでいきたい。

問 先進的な事例を参考にし、公共空間を住民が使いやすいように「活用の手引き」の作成と「窓口の統一」に取り組むべきだがどうか。

町長 住民に使いやすいものになるよう事例を調査研究していく。

1) 販売を行いたい (行商) P11へ	2) 舞会活動をしたい P12へ
3) 撮影をしたい P13へ	4) コンサートを開催したい (興行) P14へ
5) スポーツ大会を開催したい P15へ	6) イベントを開催したい P16へ

イベントの目的に合わせた手引き

問 町民広場でのマルシェの開催など、賑わいづくりとスモールビジネス支援とを合わせた施策として取り組んでいってもらいたいがどうか。

産業振興課長 有効な支援策だ。継続的に検討していきたい。

デジタル化を進めよ

問 最新版の性能の高い生成AIを活用し業務効率化を図ってほしい。検討状況は。

企画財政課長 過去に検討を行ったが、新しい版では行っていない。有益なツールであるため活用の方法を研修するなど、調査研究していく。

問 プログラミング教育が小・中学校で必修化になった。課題はどこにあるか。

教育長 小学校では時間の確保が難しい、中学校では教材不足、と一部の学校で報告があった。

問 先進地のように官民連携で進めていってほしい。地域の人材育成の観点からも重要だと考えるがどうか。

生涯学習文化課長 調査研究していく。

女性支援新法に基づき包括的支援を

問 新法ができて、支援が充実していくと考える。民間との連携も含めて、今後もさらに取り組んでいってほしいがどうか。

こども課長 若年妊産婦の支援など、本町の取り組みの長所を活かしつつ、女性相談分野も引き続き対応していく。



議会や行政は

「町民の応援団」に

南風原町老人クラブ連合会会長 赤嶺 義光(神里区)



南風原町の老人クラブの活動は、町内ほとんどの自治会が加入し、それぞれに工夫しながら頑張っています。一方で悩みはやはり新規加入者の減少です。どの地域でも特に若い世代(60代)がなかなか加入してくれず、悩んでいるとの声を聞きます。また女性会員や役員のなり手不足もあります。

組織活動や地域活動は本当に大切です。南風原町老人クラブ連合会は町社会福祉協議会に事務局を置いて、多くのサポートを受けなが



老人クラブによる見守りパトロール

ら支えて頂いています。南風原町でも、他の組織(女性会や青年会)も、色々な課題を抱えながら大変だと聞きます。議会や行政も今の時代の課題をしっかりと聞いてほしい。知ってほしいと思います。

以前に地元神里区で、地域会員のやる気を少しでも高めようと、「菊の展示会」を開催しました。40名もの出展で盛り上がりしました。町老連でも「何かできないか?」いま企画中です。ぜひとも予算や取り組みなどにも、必要になったら相談のつてほしいです。

最後に、議会や行政は「町民の応援団」であってほしい。また町民の皆さんや地域、色々な組織が「元気になる」手助けをしてほしい。高齢者の課題は健康だけではありません。交通弱者や買い物難民、地域での支え合い、何より「仲間と生きがい」が必要だと思っています。ぜひ一緒に頑張ってほしいです。

表紙の題字・写真をお寄せください

あなたの作品を議会だよりに掲載しませんか。表紙の題字と写真を募集中です。のびやかな題字や笑顔あふれるお写真をお待ちしています。ご意見・ご要望なども広く募集しています。議会だよりへのご意見・ご感想も受け付けています。

連絡先: 議会事務局 TEL.889-3097 FAX. 889-4499
E-Mail H8893097@town.haebaru.okinawa.jp



《 左のQRコードを読み取ることで議会中継サイトに繋がります。 》



《 はえばる議会だよりのバックナンバー 》

次回定例会の開会予定
9月10日(火)午前10:00

編集後記

広報委員会も業務改善を進めています。

働き方改革として、業務負担削減と、質の向上が共に求められる昨今ですが、広報委員会も同様に取り組んでいます。

17時を過ぎてまで行うことが多々あった編集作業も、進め方を見直すことで作業時間の削減を行いました。負担の増大にならないように工夫しながら、ゆとりが確保できた分を活用して、更なる紙面の充実に向けて取り組もうと意気込んでいます。

議会としてもタブレット導入が進みます。紙とデジタルの両方の良さをうまく活用しながら、議会がもっともと町民に広く親しまれるように取り組んでいきますので、議会報告会等の様々な機会でも町民の皆さんの声をお寄せいただけると嬉しく思います。

(担当/玉城陽平)



※環境保全のため、古紙配合率60%再生紙と植物油インキを使用しています。